

区民体育祭大会規定

本大会は公認野球規則、及び全軟連規定を適用。但し次の規定を優先する。

1. 試合開始予定時刻30分前に、大会本部にメンバー表3枚を提出して検印を受ける事とする。試合開始時刻予定に集合しないチームは不戦敗とする。
2. ベンチは、組合せ番号の若い方を一塁側とする。先攻、後攻はトスにて決める。
3. 試合時間は、高学年の部7回戦1時間20分、低学年の部5回戦1時間10分とする。
(プレーボールの後に、両チームへ必ず開始時間を伝える事とする)
時間を過ぎて新しい回には入らない。表の攻撃で時間が来た場合は(先攻チームが勝っている時)、裏の攻撃までやる事とする。裏の攻撃で(後攻チームが勝っている時)時間が来た時は、アウトカウントに関係なくその打者で終了する事を、球審は、宣告しなければならない。
4. 延長戦は行わず、規定回終了時、又は制限時間が過ぎて同点の場合は、タイゲームとして正式試合を打ち切り、特別方式を適用して試合を続行する。特別方式はノーアウト1・2塁、継続打順とし、1イニングとする。勝敗がつかない場合は、抽選によって勝敗を決定する。
5. 参加資格は、区内に活動拠点を置く学童軟式野球チームとし、高学年の部は6年生以下、低学年の部は4年生以下で編成し、大会前に登録のある単独チームとする。尚、補強は認めないが、単独で編成できないチームは、合同チームによる参加を認める。
不正出場その他規則違反に対しては、連盟規定により処理する。
6. コールドゲームについては、3回10点差、4回以降7点差、及び降雨・日没により4回以降継続不可能となった時とする。正式試合の成立は、高学年の部は4回完了時、低学年の部は3回完了時とする。
7. 投手は変化球を投げる事を禁止する。ペナルティは競技者必携を参照する。
8. 用具については、打者、走者、次打者、ベースコーチは両側にイヤーフラップの付いたヘルメットを着用する。捕手はプロテクター、レガード、ファウルカップ、スロートガード付きマスク、ヘルメットを着用する。ハイコンバットは、J. S. B. B. のマークの入ったものを使用すること。
9. ボークは、高学年の部は1回目から適用する。低学年の部は注意とする。(但し、攻撃側の不利益は排除する。)
10. 抗議のできる者は、監督、当該選手とする。但し、判定についての抗議は認めない。
11. 試合中は、監督に限りグラウンドに出て指示する事が出来る。監督及びコーチはグラウンド内でグローブの使用を禁止とする。父母はグラウンドに入れない。
12. 背番号は、選手0~99(主将10)の20名以内、監督30、コーチ29、28番。登録は男女を問わない。
13. ベンチ入りは監督、コーチ2名(登録者)、スコアラー(チーム帽子着用)、健康管理者2名以内(チーム帽子着用)、計6名以内と登録選手20名までとする。
14. 高学年の部は、塁間23m・投本間16m、低学年の部は、塁間21m・投本間14mとする。
15. 使用球は、ナガセケンコーボールJ号とする。
16. グラウンドルールは、担当審判員の指示に従う。
17. 試合中、又は試合会場への往復の事故について、主催者側は一切責任を負いませんので、ご注意の上参加ください。
18. 試合会場に設置してある「AED」の場所を、試合前に確認をすること。
19. 参加チームは、新型コロナウイルス感染症予防対策を各自で行い、大会におけるコロナ対策を遵守すること。

公式野球大会注意事項準拠 [少年部 (中学年齢層)・学童部 (小学年齢層)]

公益財団法人東京都軟式野球連盟

- (1) 少年・学童の大会では、高学年の部は7回戦とし1時間20分(低学年の部は5回戦とし1時間10分)を超えて、新しいイニングに入れない。
- (2) 試合開始時間については、大会本部もしくは、各面の責任審判員が管理し、両チームに試合開始時間を通告することとします。
- (3) 試合制限時間に達した時は、球審が両チームに通告いたします。

【ケース1】

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
A	0	0	2	0	3	■		6
B	0	0	0	0	2			2

[Aがリードの6回表に1時間20分が経過した場合]

※6回を7回と置き換えて、6回裏の攻撃まで行う。

【ケース2】

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
A	0	0	2	0	0	1		3
B	0	0	2	0	2	■		4

[Bがリードの6回裏のB攻撃中に1時間20分が経過した場合]

※1時間20分を超えた時点で試合終了となる。審判員は最後の打者の打撃開始前にその旨を両チームに通告し、この最後の打者の記録まで有効とする。

杉並区軟式野球連盟学童少年部連絡会